【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2002-346063(P2002-346063A)
【公開日】平成14年12月3日(2002.12.3)
【出願番号】特願2001-261858(P2001-261858)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０３Ａ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　遊技盤面上に設けられた入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示する遊技機において、
遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、
前記遊技制御手段は、
前記入球領域への前記遊技媒体の入球数を累計する入球数累計手段と、
当該遊技機の作動電源の供給が停止した後であって、該停止が解除され作動電源の供給が復帰した場合に、前記入球数累計手段により累計された前記入球数に関する情報を前記表示制御手段に送信する入球数情報送信手段と、を備えていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
【課題を解決するための手段及び発明の効果】
上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、
遊技盤面上に設けられた入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示する遊技機において、
遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、
前記遊技制御手段は、
前記入球領域への前記遊技媒体の入球数を累計する入球数累計手段と、
当該遊技機の作動電源の供給が停止した後であって、該停止が解除され作動電源の供給が復帰した場合に、前記入球数累計手段により累計された前記入球数に関する情報を前記表示制御手段に送信する入球数情報送信手段と、を備えていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
このような遊技機においては、入球数累計手段により入球領域への入球数が累計され、例えば電断等の電源供給異常が発生した場合、その異常発生時の入球数を確認することが可能となり得る。電断復旧時には、例えば識別情報表示コマンドを送信し、その後、入球数コマンドを送信することで、異常発生時の入球数を表示制御手段も確認可能となり、該異常発生時の復旧を確実に行うことが可能となり得る。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、このような遊技機では、
所定数の遊技媒体の発射を単位遊技とし、該単位遊技における複数の入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示し、該識別情報の組合せに基づき賞態様を決定する遊技機において、
遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、
前記遊技制御手段は、前記単位遊技の遊技状態を示す遊技状態コマンドを前記表示制御手段に送信する遊技状態コマンド送信手段を備えることができる。
このような遊技機においては、遊技制御手段から送信される遊技状態コマンドにより、表示制御手段が単位遊技の遊技状態を把握可能となる。すなわち、表示制御手段に送信される遊技状態コマンドが、単位遊技の遊技状態を反映したコマンドとされており、該遊技状態コマンドを受信した表示制御手段が遊技状態を管理することが可能となる。具体的には、遊技状態コマンドは例えば前記単位遊技の開始及び／又は終了を示すコマンドを少なくとも含むものとすることができる。この場合、該単位遊技の開始及び／又は終了を表示制御手段にて把握可能となり、単位遊技における各種コマンド（例えば識別情報表示コマンド、入球数コマンド、全識別情報表示解除コマンド）の取りこぼしを容易に検出することが可能となり得る。すなわち、単位遊技の開始から終了までに受信すべき上記各種コマンドが受信されたか否かを容易に把握可能となり得る。なお、遊技状態コマンドは、例えば単位遊技の開始から立ち上がる立上り信号であって、当該単位遊技の継続中は常に立上りを継続し、単位遊技の終了時に立ち下がるものとすることができ、該単位遊技の終了後、所定の遊技確認時間を経た後に再び立ち上がるものとすることができる。